



南海トラフ地震を想定した防災訓練を実施します(報道公開)

名古屋高速道路公社は、南海トラフ地震を想定し、被災時における対応力の一層の向上を目的として、以下のとおり防災訓練を実施します。

この訓練では、路面の段差等を解消するための軽量渡し板の設置や今年度は新たに導入した軽量スロープを用いた道路啓開の実働訓練を行います。[詳細は裏面参照]



《ジャッキによる停止車両移動》



《軽量スロープによる段差応急復旧》

1. 日 時

令和2年8月28日 (金) 10:00~11:00

2. 場 所

名古屋高速道路公社 船見基地 (名古屋市港区船見町1番地の128)

3. 訓練上の想定

南海トラフ地震が発生し、高速道路上に伸縮装置部等の土木構造物の損傷及び停止車両が緊急車両の通行の妨げになっている状況を被災想定します。

訓練は職員及び維持業者等が道路啓開用の特殊な資機材を使用して、停止車両を移動させ路面の段差等を解消し緊急車両を通行させるまでの一連の啓開訓練を実施します。

4. 訓練参加機関

名古屋高速道路公社、名古屋高速道路協会、土木維持業者

5. その他

当日の取材をご希望の方は、8月27日(木)15時までに広報課(TEL:052-919-3236)までご連絡ください。

防災訓練の概要

訓練内容

応急的な道路啓開（実働訓練） ※報道公開（10:00～11:00）

内容①：停止車両が緊急車両の通行を妨げている状況を想定し、これを解消するために限られたスペース内で作業を実施することができるジャッキを使用した車両移動訓練を行います。

内容②：伸縮装置部に損傷が生じて路面の段差により緊急車両が通行できない状況を想定し、これを解消するための軽量渡し板、軽量スロープを設置する訓練を行います。

内容①

各タイヤに1台ずつジャッキを設置し車体を路面から浮かせ、施錠された車両を人力で移動させます。



《ジャッキ（機械式）》



《ジャッキ設置》



《車両移動》

○重量：約 20 kg／台 ○対応可能車両：約 3 t 車まで

内容②

地震による被害で橋梁伸縮部に段差・開きが発生した箇所に“人力で速やかに運搬・設置が可能”な資機材を使用した応急復旧作業を実施します。

＜軽量渡し板＞



《設置状況》

- 重さ
約 30kg/枚
- 規格
FRP 製（せん維強化プラスチック）
- 通行可能車両
大型車両 10 t 車程度まで

＜軽量スロープ (EPS スロープ) ＞



《設置状況》

- 重さ
約 30 kg／部材
- 規格
発砲ポリスチレン
- 通行可能車両
大型車両 10 t 車程度まで

※今年度の災害対策本部の運営（図上訓練）は、新型コロナウイルス感染症対策のため、少人数による手順確認作業のみ実施します。

つきましては、実施状況に関する情報は、後日資料提供させていただきます。

ご希望の方は、広報課（TEL：052-919-3236）までご連絡ください。

○実働訓練の実施場所

名古屋高速道路公社 船見基地（名古屋市港区船見町1番地の128）

